

授業概要

近代化によってもたらされたひずみが指摘され、東洋思想をみつめなおす動きがおこっている。東洋思想の歴史的展開を、時代順に講義し、各思想の歴史的背景、時代的特徴、そしてその思想がもつ現在の意義を、考察する。各思想、思想家のかかわり、思想史における位置づけを分析することによって、「東洋」の思想的特徴を講義する。

授業計画

第1回	東洋思想とは何か
第2回	古代インド思想
第3回	釈迦の思想①真理の言葉1, 2
第4回	釈迦の思想②真理の言葉3, 4
第5回	釈迦の思想の伝播
第6回	日本への影響
第7回	イスラーム思想①
第8回	イスラーム思想②
第9回	身近なイスラーム
第10回	孔子の思想
第11回	孔子の思想の伝播
第12回	岡倉天心
第13回	R, タゴール
第14回	ガンディー
第15回	ネルー
第16回	筆記試験

到達目標

東洋思想の重要事項について基礎的知識を習得し、東洋思想に共通する潮流を理解する。思想家、思想の生まれた歴史的背景、それぞれの思想家、思想内容の関連に留意し、現在における影響、現代的意味を理解する。

履修上の注意

東洋史概説の履修者がのぞましい。

予習・復習

シラバスに従って思想、あるいは思想家についての基本的な知識を予習しておくこと。講義後は、配布されたプリントと参考文献などを読んで知識を深めておくこと。

評価方法

授業中の態度、授業後に回収するリアクシヨペーパーの内容が50%、学期末の筆記試験50%として総合的に評価する。

テキスト

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。